

干柿を活用したスイーツの開発

支援機関 株式会社伊予銀行 支援内容 富士柿と干し富士柿を使ったスイーツ、ジェラートの開発 支援区分 農工商連携／6次化

株式会社 丸京農園

事業者概要

社名／株式会社 丸京農園
代表者名／代表取締役 井上 千代美
業種／干柿製造業及び販売
所在地／八幡浜市国木
資本金／2,000,000円
設立／平成28年8月
従業員数／1名



干し柿のRawクリームサンド

支援に至る経緯

日本有数の柑橘産地である八幡浜市に、国木（くにぎ）・牛名（うじな）という地区がある。全国でも唯一「富士柿」を生産している地域であるが、あまり知られていない。

「富士柿」は昭和3年（1928年）に栽培が開始された。富士山に形が良く似ていることから「富士柿」と名付けられたが、形だけでなく、大きさも日本一であり、その名にふさわしい柿である。

実家が富士柿生産者である株式会社丸京農園（以下、「当社」という）代表の井上千代美氏（以下、「井上氏」という）は、関東で薬剤師として活躍しながら、帰省した際には実家の手伝いを行っていた。その中で、高齢化や生産量の減少といった問題に直面し、何か課題解決できる方法はないかと考えるようになった。

土づくりマスターの資格を取得するなど更に踏み込んで富士柿と関わる一方、富士柿をもっと知ってもらうために、富士柿のプロデュースが事業化出来ないかとの考えに至り、平成28年6月に当社を設立した。

そもそも柿は日持ちせず変色しやすいなどの理由から、加工による商品化が非常に難しいため、ほとんど生果で消費されている。しかし井上氏は、だからこそ加工による商品化に取り組むことで新しい可能性を見出すことが必要と考えた。当社ではまず「干し柿」の商品化に取り組み、大きさ故の数々の課題を乗り越え、枯露柿タイプの絶品の干し柿開発に成功している。

伊予銀行（以下、「当行」という）は、全国で唯一生産される八幡浜の「富士柿」の産地を守り、地域を活性化したいと思う井上氏の考えに賛同し、会社設立時より支援を開始した。

支援内容

- ・「干し柿」製造場所の取得及び生産設備投資への融資
- ・「えひめ農工商連携ファンド」申請のサポート
- ・スイーツ製品の委託加工先の紹介
- ・商談会への参加サポート
- ・販売先の紹介



干し柿の生産

支援の効果

井上氏はバイヤーとの商談経験に乏しかったが、当行が商談会への参加やビジネスマッチングによるバイヤーとの商談をコーディネートすることにより、商談力は格段に向上した。商品力に商談力が加わり、販路の可能性は大きく広がっている。

また、干し柿を活用して更に商品の裾野を広げることで、富士柿の新たな利用シーンを提案すべく商品開発に着手した。これに関連して当行はジェラート製造会社を紹介し、共同で商品開発が進むこととなった。井上氏は自身の特性である「女性目線」と「薬剤師としての知見」を商品開発に取り入れており、美容やアンチエイジングに配慮した女性をターゲットとした「干し柿のクリームサンド」「富士柿ジェラート」の商品化が目前となっている。さらにこの商品開発においては、地元八幡浜市の柑橘生産者や菓子製造業者との連携を行っている。様々な素材や技術を持つ事業者と協業することで、地域でWIN-WIN の関係を構築し、互いに相乗効果を発揮して事業の可能性を拡大していく取り組みを進めている。



桔露柿タイプの干し柿

今後の展開

まずは裾野を拡大すべく開発した商品を着実に販売していく。ギフト市場を主眼に、商品の組み合わせにより、様々な利用シーズンや利用シーンに対応したギフト商品提案を行っていく予定である。当行も当社の商品コンセプトや販売戦略に合った販売候補先の紹介を行い、販売増加とともにバイヤーニーズを取り入れた戦略のブラッシュアップに貢献していく。

当社の取り組みが富士柿生産者の所得向上に繋がり、生産の拡大と当社事業発展の好循環が生まれるよう取り組んでいく。



富士柿を使ったジェラート

事業者の声

愛媛県八幡浜市の特産であり日本一大きい柿といわれる「富士柿」の生産地を守るべく、一人でも多くの方に富士柿を知ってもらい、食べてもらいたく、富士柿のプロデュース会社を設立しました。薬剤師、土作りマスター（土壌医2級）の資格を生かし、土から育まれた自然の贈りものを、極力添加物を使用しないでいただく。そんな本来の食のあり方を伝えていきます。



代表取締役 井上 千代美

支援者の声

地域発信で新しいビジネスを展開している当社の熱意ある取り組みに対して、私共も非常にやりがいを持って支援させて頂いております。私個人としても「富士柿」のファンの一人としておいしさに感動しています。八幡浜の「富士柿」が全国に知られるように応援していきたいと考えております。



伊予銀行八幡浜支店
尾崎 政洋